ユーザーズ ガイド
L1925フラット パネル モニタ

製品番号：320107-291

2003年2月

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して、また本書の適用の結果生じた間接損害を含めいかなる損害についても、責任を負いかねますのでご了承ください。本書の内容は、現状有姿のままで提供されるもので、商品性または特定目的への適合性に関する黙示の保証などを含むいかなる保証も含みません。本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett-Packard製品に対する保証は、当該製品に付属の限定的保証規定に明示的に記載されているものに限られます。**本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。**

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

以下の記号は、本文中で安全上重要な注意事項を示します。

警告：その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがあるという警告事項を表します。

注意：その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こす恐れがあるという注意事項を表します。

ユーザーズ ガイド
L1925フラット パネル モニタ
初版 2003年2月
製品番号：320107-291

日本ヒューレット・パッカード株式会社

目次

C 規定に関するご注意

D TCO '03の要件

1

製品の特長

このL1925フラット パネル モニタでは、アクティブ マトリクス方式の薄膜トランジスタ（TFT）液晶ディスプレイ（LCD）を採用しています。このモニタの特長は以下のとおりです。

- 表示領域19インチ（対角長48.3 cm）の大型ディスプレイ
- 1280×1024の解像度以下でフル スクリーン サポート
- さまざまな角度から鮮明に見ることができる画面表示
- 画面の上下左右の向きを調整可能
- 設置場所に応じて取り外しができる台
- 複数のビデオ入力ソースをサポート
  - ❑ VGAアナログ
  - ❑ DVI-Iはアナログ信号またはデジタル信号での入力をサポート
- VGAアナログ信号ケーブルおよびDVI-Dデジタル信号ケーブルが付属
- プラグ アンド プレイ機能（システムでサポートされる場合）
- 設定を簡単にし、画面の最適化を可能にする、画面表示（オンスクリーン メニュー）による画面調節機能（英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、オランダ語）
- 情報ファイル（INF）、Image Color Matchingファイル（ICM）、および製品のマニュアルが含まれるSoftware and Reference Library CD
- 国際エネルギー スター プログラム（Energy Star）に準拠したエナジー セーブ機能

- 資産管理
- 以下の規定に準拠
  - 国際エネルギー スター プログラム（EPA Energy Star）
  - European Union CE Directives
  - Swedish MPR II 1990
  - Swedish TCO '03

2

安全および保守に関するガイドライン

安全に関する重要な情報

お使いのモニタには電源コードが付属しています。別のコードを使用する場合は、適切な電源および接続先のみを使用してください。モニタに接続する適切な電源コードについては、付録Cの「電源コードの要件」を参照してください。

警告 : 感電や装置の損傷を防止するため、必ず電源コードのアース端子を使用して接地してください。電源コードは、モニタの近くの手が届きやすい場所にあるACコンセントに接続してください。アース端子は、製品を安全に使用するために欠かせないものです。

警告 : 安全のために、電源コードは、モニタの近くの手が届きやすい場所にあるコンセントに接続してください。モニタから完全に電源を切る必要があるときは、プラグ部分をしっかりと持ってコンセントから電源コードを抜いてください。コードを引っ張って抜かないでください。

注意 : モニタおよびコンピュータの保護のために、コンピュータおよび周辺装置（モニタ、プリンタ、スキャナなど）のすべての電源コードをマルチソケットや無停電電源装置（UPS）などのサージ防止機能のあるサージ保安器に接続してください。すべてのマルチソケットがサージに対応しているわけではありません。サージ防止機能のあるマルチソケットをお使いになることをお勧めします。

保守に関するガイドライン

モニタの性能を向上させ長く使い続けるために、以下のガイドラインに従ってください。

■ モニタのキャビネットを開けたり自分で修理したりしないでください。このマニュアルに記載されている調整機能のみ使用してください。正常に動作しない場合や、モニタを落としたり破損したりした場合には、HPのサポート窓口にお問い合わせください。

■ このマニュアルに記載してある機能に対してのみ調整を行ってください。

■ AC電源は、モニタ裏面のラベルに記載された条件に適合するものを使用してください。

■ コンセントに接続する機器の定格電流の合計がコンセントの許容電流を、またコードに接続する機器の定格電流の合計がコードの許容電流を超えないようにしてください。各機器の定格電流（AMPSまたはA）は電源のラベルに記載されています。

■ モニタは、手が届きやすい場所にあるACコンセントの近くに設置します。電源コードをACコンセントから外すときは、必ずプラグをしっかりと持って抜きます。コードを引っ張って抜かないでください。

■ モニタを使用していないときには、モニタの電源を切るようにしてください。スクリーン セーバ プログラムを使用したり、モニタを使用していないときに電源を切るようにしたりすると、モニタを長くお使いいただけます。

■ モニタを清掃するときには、必ず電源コードをACコンセントから外します。液体クリーナやスプレー式クリーナは使わずに、湿らせた布で拭いてください。布で拭いただけでは画面の汚れがとれない場合には、静電防止用の市販のクリーナを使います。

注意：ベンジン、シンナー、アンモニアなどの揮発性の溶剤を使ってモニタや画面を拭かないでください。このような化学薬品を使うと、キャビネット表面や画面が損傷することがあります。

- キャビネットのスロットや開口部は通気のために必要です。スロットや開口部をふさいだり覆ったりしないでください。また、異物を押し込んだりしないでください。
- モニタを落としたり、不安定な台の上に置いたりしないでください。
- 電源コードの上に物を置いたり、電源コードを足で踏んだりしないでください。
- モニタは通気のよい場所に設置し、過度の光熱や湿気にさらさないようにします。
- モニタ台を取り外すときは、モニタの表面を傷つけたり、汚したり、破損したりしないように、表面が柔らかい場所にフロント パネルを下にして置いてください。

モニタの清掃

以下の手順に従って、モニタを清掃します。

1. モニタとコンピュータ本体の電源を切ります。
2. 画面およびキャビネットを清潔な柔らかい布で拭いて、ほこりを取り除きます。

布で拭いただけでは画面の汚れがとれない場合には、イソプロピル アルコールで湿らせた清潔な布を使います。

注意：ベンジン、シンナーなどの揮発性の溶剤を使ってモニタの画面やキャビネットを拭かないでください。このような化学薬品を使うと、モニタが損傷することがあります。また、LCD 画面の清掃には水を使用しないでください。

モニタの運搬

モニタを運搬する場合は、モニタ出荷時の梱包箱および緩衝材、またはそれらと同等の材料を使用してしっかり梱包してください。

3

モニタのセットアップ

モニタをセットアップするには、モニタ、コンピュータ システム、およびコンピュータに接続されているその他の装置の電源が切られていることを確認してから、以下の手順で操作します。

1. モニタを、作業がしやすく通気のよい、コンピュータの近くの場所に置きます。
2. モニタの信号ケーブルの一方の端をコンピュータのリア パネルのビデオ コネクタに接続し、もう一方の端をモニタの背面に接続します。

このモニタに同梱されているDVI-Dケーブルは、デジタル信号間の接続専用ケーブルです。このケーブルを使用するには、コンピュータにDVI互換のグラフィックス カードが取り付けられている必要があります。DVI-D信号ケーブルをモニタのDVI コネクタに接続する場合は、必ず、DVI-Dケーブルのもう一方の端をコンピュータのDVIコネクタに接続してください。

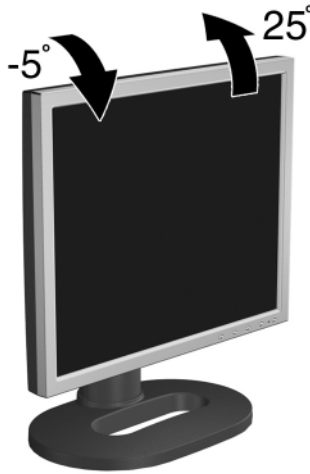
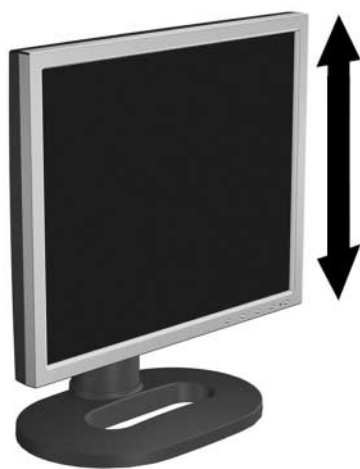
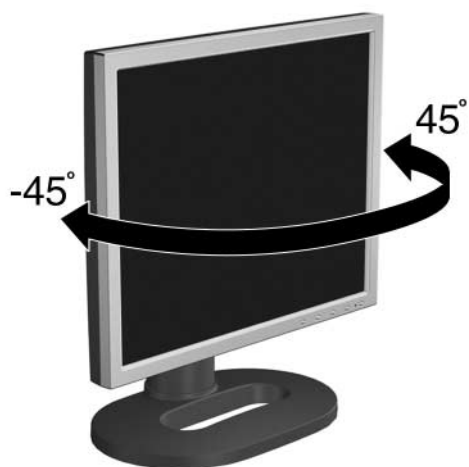
3. 電源ケーブルの一方の端をモニタの背面に接続し、もう一方の端をACコンセントに接続します。

VGA信号ケーブルおよび電源ケーブルの接続

DVI-D信号ケーブルおよび電源ケーブルの接続

4. 必要に応じて、使いやすい角度にモニタの上下左右の向きおよび高さを調節します。

モニタ画面の表示方向は縦置きに変更することができます。画面を回転させて縦置きにするには、モニタに付属のCD-ROMに収録されているPivotソフトウェアをインストールする必要があります。

45°
-45°

警告：感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

- 必ず電源コードのアース端子を使用して接地してください。
- 電源コードは、モニタの近くの手が届きやすい場所にある AC コンセントに接続してください。
- モニタへの外部電源の供給を遮断するには、電源コードを AC コンセントから抜いてください。
- 電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っかけたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っ張らないでください。コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。

注意：モニタに長時間一定の画像を表示したままにしておくと、残像が表示されることがあります。モニタ画面に残像が表示されないようにするには、常にスクリーン セーバ アプリケーションを有効に設定しておくか、長時間モニタを使用しないときはモニタの電源を切ります。

信号コネクタおよびケーブルの選択

このモニタには、信号入力コネクタが2つ（VGAコネクタとDVI-Iコネクタが1つずつ）付いており、どちら入力コネクタのビデオ信号が有効かは、モニタによって自動的に判断されます。ビデオ信号の入力を選択するには、オンスクリーン ディスプレイ（OSD）機能を使用するか、またはモニタのフロント パネルにある信号入力1ボタンまたは信号入力2ボタンを押します。

DVI-Dコネクタでサポートされるビデオ モードは、使用するビデオ ケーブルによって決定されます。デジタル操作の場合は、付属のDVI-D - DVI-D信号ケーブルを使用します。アナログ操作の場合は、DVI-A - VGA信号ケーブル（モニタには付属していません）をDVI-I入力に接続する必要があります。

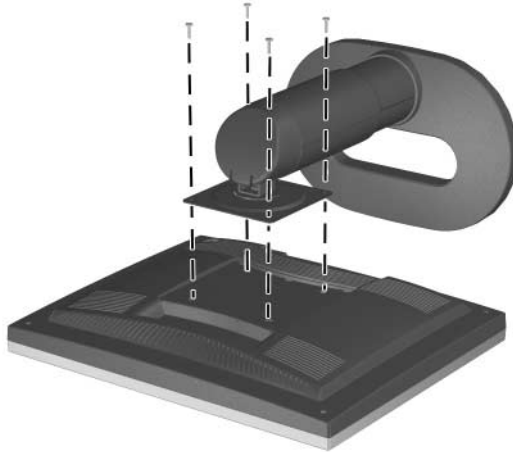
モニタ台の取り外し

モニタを壁、スイング アーム、またはその他の固定器具に取り付けるために、モニタ台を取り外すことができます。取り外しを行う前に、以下の注意および警告をお読みください。

注意：モニタの取り外し作業を始める前に、モニタの電源が切られていること、および電源ケーブルと信号ケーブルを取り外してあることを確認してください。

モニタの表面を傷をつけたり、汚したり、破損したりしないように、表面が柔らかい場所にフロント パネルを下にして置いてください。

警告：モニタを立てた状態で台をモニタから取り外さないでください。また、モニタを台から取り外す前に、平らな場所にフロント パネルを下にして置いてあることと、台が最大限まで拡張されていることを確認してください。台が拡張されていない状態でモニタを立てた状態のまま台から取り外そうとすると、怪我をするおそれがあります。

1. モニタの背面から信号ケーブルおよび電源ケーブルを取り外します。
2. 下の図に示すように、4本のネジを取り外します。

注意：モニタから台を取り外す前に、台の底部が作業台の外に出ていないことを確認してください。

3. モニタから台を取り外します。

モニタの取り付け

1. モニタ台を取り外します。この章の「モニタ台の取り外し」を参照してください。

   台を取り外すと、モニタの背面に固定器具への取り付けに使用する4つの穴があることがわかります。これらの穴は10 cm間隔で配置されており、VESA（Video Electronics Standard Association）が定めるフラット パネル ディスプレイの設置規準に準拠しています。

2. 使用する固定器具に付属の説明書を参照して、モニタをスイングアームやその他の固定器具に取り付けます。

4

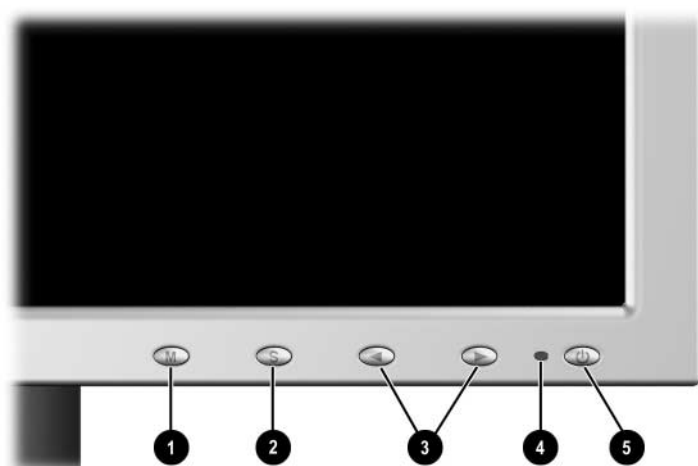
モニタの操作

情報ファイルのインストール

このモニタに同梱されているCD-ROMには、コンピュータにインストールする2つの情報ファイル（INFファイルおよびICMファイル）が収録されています。

- INFファイルは、モニタ リソースを定義し、サポート ソフトウェアを特定のハードウェア デバイスにインストールするためにほとんどのオペレーティング システムが必要とする仕様を提供します。INFファイルは、モニタとお使いのコンピュータのグラフィックス アダプタとの互換性を確保し、設定を最適化します。INFファイルは、http://www.hp.com/go/support（英語版）で希望するモニタを選択し、ダウンロードすることもできます。
- ICMファイルは、モニタ画面からプリンタの色調を調整するためのグラフィックス プログラムとともに使用され、グラフィックス プログラムの実行時に有効になります。

これらのファイルをコンピュータにインストールするには、Software and Reference Library CDをコンピュータのCD-ROMドライブに挿入し、CDのメイン メニューから[Install INF and ICM Files]（INFファイルとICMファイルのインストール）を選択して、画面の指示に従って操作します。

フロント パネルの各部

番号	名称	機能
❶	メニュー ボタン	オンスクリーン ディスプレイ（OSD）メニューを表示します
❷	Select/Autoボタン	• OSDが表示されているときに、調整する項目をOSDメニューから選択します • OSDが表示されていないときに、自動的に[Auto Adjustment]（自動調整）機能をアクティブにして画像を最適化します
❸	OSD Navigation/ Input Selectボタン	• OSDが表示されているときに、OSDメニュー内を移動したりスケールを調整したりします • OSDが表示されていないときに、信号入力（DVI-IまたはD-Sub）を選択します
❹	電源ランプ	緑色に点灯：電源が入っている状態 オレンジ色に点灯：スリープ モードの状態
❺	電源スイッチ	モニタの電源をオンまたはオフにします

モニタの設定の調整

オンスクリーン ディスプレイ（OSD）メニューを表示するには、モニタのフロント パネルにあるメニュー ボタンを押します。[Main Menu]（メイン メニュー）ウィンドウが表示され、モニタのさまざまな機能を調整できます。調整を行うには、メニュー ウィンドウ内の左右の矢印キーを使用します。

オンスクリーン ディスプレイの使用

画面設定を調節するための項目は、オンスクリーン ディスプレイ（OSD）メニュー内にあります。メニューには2種類あり、1つでは基本的な調整を行い、もう1つでは拡張機能の調整を行います。

OSDの[Basic Menu]（基本メニュー）を表示するには、モニタのフロント パネルのメニュー ボタンを押します。

OSDの基本メニュー

メニュー レベル1	メニュー レベル2
Brightness（輝度）	調整用スケール
Contrast（コントラスト）	調整用スケール
Auto Adjustment（自動調整）	
Advanced Menu（拡張メニュー）	
Exit（終了）	

OSDの拡張メニューを表示するには、もう一度メニュー ボタンを押すか、OSDの[Basic Menu]から[Advanced Menu]（拡張メニュー）を選択します。

[Basic Menu]から[Advanced Menu]を選択すると、モニタの起動時に[Advanced Menu]がデフォルトのOSDに設定されます。この設定は、[Basic Menu]を選択するか、モニタを工場出荷時の状態に戻すまで有効になります。

OSDの拡張メニューには最大2つのサブレベルがあります。このモニタには日本語のメニュー表示はありませんので、次のページの説明に従って画面設定を行ってください。以下の表に、それぞれのレベルの機能を表示します。

OSDの拡張メニュー レベル

レベル1	レベル2	レベル3
Brightness（輝度）	調整用スケール	
Contrast（コントラスト）	調整用スケール	

OSDの拡張メニュー レベル		
レベル1	**レベル2**	**レベル3**
Image Control（イメージ コントロール）	Auto Adjustment（自動調整）	（調整中のメッセージ）
	Horizontal Position（水平表示位置）	調整用スケール
	Vertical Position（垂直表示位置）	調整用スケール
	Clock（クロック）	調整用スケール
	Clock Phase（クロック フェーズ）	調整用スケール
	Cancel（キャンセル）	
	Save and Return（保存して戻る）	
✎ [Clock]（クロック）および[Clock Phase]は、モニタがDVI-D（デジタル）モードで動作しているときには選択できません。		
Color（色）	9300 K	
	6500 K	
	Custom Color（カスタム カラー）	RGB Color Adjustment（RGBカラー調整）
	Cancel（キャンセル）	
	Save and Return（保存して戻る）	
Language（言語）	Deutsch（ドイツ語）	
	English（英語）	
	Espanol（スペイン語）	
	Francais（フランス語）	
	Italiano（イタリア語）	
	Nederlands（オランダ語）	
	Cancel（キャンセル）	
	Save and Return（保存して戻る）	

OSDの拡張メニュー レベル		
レベル1	**レベル2**	**レベル3**
Management（マネジメント）	Power Saver（エナジーセーブ）	On（オン）Off（オフ）
	Power On Recall（再開時に電源オン）	On（オン）Off（オフ）
	Mode Display（モード表示）	On（オン）Off（オフ）
	Serial Number（シリアル番号）	（シリアル番号を表示）
	Basic Menu（基本メニュー）	
	Cancel（キャンセル）	
	Save and Return（保存して戻る）	
OSD Control（オンスクリーン メニュー コントロール）	Horizontal Position（水平表示位置）	調整用スケール
	Vertical Position（垂直表示位置）	調整用スケール
	OSD Timeout（OSD タイムアウト）	調整用スケール
	OSD Transparency（OSD 透明度）	調整用スケール
	Cancel（キャンセル）	
	Save and Return（保存して戻る）	
Video Input Controls（ビデオ入力コントロール）	入力選択	Analog（D-SUB）（アナログ（D-SUB））
		Analog（DVI）（アナログ（DVI））
		Digital（DVI）（デジタル（DVI））
		Auto Detect（自動検出）
	Cancel（キャンセル）	
	Save and Return（保存して戻る）	
Factory Reset（工場出荷時設定）	Yes（はい）	
	No（いいえ）	
Exit（終了）		

画質の調節

画質を調整する場合は、モニタの電源を入れてから20分間のウォームアップ時間をとり、画像が安定した状態で以下の手順で操作してください。

オンスクリーン ディスプレイ（OSD）メニューの[Auto Adjustment]（自動調整）機能を使用すると、新しいビデオ モードが使用されるたびに自動的に画質が調整されます。さらに調整を行う必要がある場合は、フロント パネルにある自動調整用のボタンを使用します。

より正確に調整するには、CD-ROMに収録されている調整用パターンを使用して、OSDメニューからアクセスする[Clock]（クロック）および[Clock Phase]（クロック フェーズ）の設定を次の節の説明に従って調整します。

アナログ ビデオの最適化

このモニタには、フラット パネルの最新の回路が搭載されており、標準のモニタと同じような機能を備えています。オンスクリーン ディスプレイ（OSD）メニューの[Clock]および[Clock Phase]を調節して、画質を向上させることができます。自動調整機能を使用しても希望する画質が得られない場合にのみこれらの機能を使用してください。

[Clock Phase]の設定は[Clock]の設定に影響されるので、最初に[Clock]を正しく設定しておきます。

- [Clock]：画面に表示される縦線や縞模様を最小限に抑えます。
- [Clock Phase]：画像の歪みまたはぶれを最小限に抑えます。

これらの調整を行う場合は、CD-ROMに収録されている調整用パターン アプリケーションを使用すると最適な結果が得られます。

[Clock]（クロック）および[Clock Phase]（クロック フェーズ）の設定値を調整しているときにモニタの画像が歪む場合は、歪みがなくなるまで調整を続けます。工場出荷時の設定に戻すには、OSDメニューの[Factory Reset]（工場出荷時設定）から[Yes]（はい）を選択します。

トラブルシューティング

一般的なトラブルの解決方法

以下の表に、発生する可能性のあるトラブル、考えられる原因、および推奨する解決方法を示します。

トラブル	原因	解決方法
画面に何も表示されない	電源コードが外れている	電源コードを接続します
	電源スイッチがオフになっている	電源を入れます
	ビデオ ケーブルが正しく接続されていない	ビデオ ケーブルを正しく接続します。詳しくは「第3章 モニタのセットアップ」を参照してください
	画面表示を消すユーティリティが有効になっている	キーボードの任意のキーを押すかマウスを動かして、画面表示を消すユーティリティを無効にします

トラブル	原因	解決方法
画像がぼやけている、不鮮明、または暗すぎる	輝度およびコントラストの設定が低すぎる	モニタのフロント パネルの自動調整用ボタンを押します。それでも画質が改善されない場合は、メニュー ボタンを押してOSDの基本メニューを開き、必要に応じて輝度およびコントラストのスケールを調整します
画像が中央に表示されない	位置を調整する必要がある	メニュー ボタンを押してOSDメニューを表示します。[Image Control]（イメージ コントロール）の[Horizontal Position]（水平表示位置）または[Vertical Position]（垂直表示位置）を選択して、画像の水平位置または垂直位置を調整します
[No Connection, Check Signal Cable]と画面に表示される	モニタのビデオ ケーブルが外れている	15ピン モニタ ビデオ ケーブルをコンピュータのVGAコネクタに接続するか、またはDVI-D信号ケーブルをコンピュータのDVIコネクタに接続します。ビデオ ケーブルを接続するときにコンピュータの電源がオフになっていることを確認してください
[Out of Range. Set Monitor to 1280 x 1024@60Hz]と画面に表示される	ビデオ解像度やリフレッシュ レートが、モニタがサポートするレベルを超えるレベルに設定されている	コンピュータを再起動し、Safeモードに入ります。設定値をサポートされている設定値に変更します（付録Bの「出荷時のプリセット ディスプレイ モード」の表を参照）。コンピュータを再起動し、新しい設定値を有効にします

インターネットWebサイト

HPのサポートWebサイト（http://www.hp.com/country/jp/jpn/support.html）で各種情報を提供していますので、HPのサポート窓口に問い合わせる前に、参照してみてください。

お問い合わせになる前に

お使いのモニタに問題が生じたなど、HPのテクニカル サポートをご利用いただく際に、以下のような情報を事前にご準備いただくと、解決がより迅速になる場合があります。

■ モニタのモデル番号

■ モニタのシリアル番号

■ 購入年月日および購入店名

■ 問題が発生したときの状況（できるだけ具体的にお願いします）

■ 表示されたエラー メッセージ

■ ハードウェア構成

■ 使用しているハードウェアとソフトウェアの種類

B

技術仕様

L1925フラット パネル モニタ	
ディスプレイ 　タイプ	19型（48.3 cm） TFT LCD
表示可能画像サイズ	19インチ（48.3 cm）（対角線）
傾斜角度 回転角度	-5～20° +45～-45°
画面処理	ハード コーティング付きグレア防止偏向プリズム
最大重量（非梱包時）	8.0 kg（非梱包時）
寸法（モニタ台を含む） 　高さ 　奥行き 　幅	 508 mm 208 mm 416 mm
最大グラフィクス解像度	1280×1024（75 Hz）アナログおよびデジタル モード
テキスト モード	720×400
ドット ピッチ	0.294（縦）×0.294（横）mm
水平周波数（アナログ モード）	30～82 kHz
垂直周波数（アナログ モード）	56～76 Hz
環境条件 　動作保証温度 　動作時 　保管時	 5～35°C -20～60°C

L1925フラット パネル モニタ（続き）	
相対湿度	20～80 %
電源	100～240 VAC、50～60 Hz
消費電力	40 W未満
入力端子	15ピンD-Subコネクタ（ケーブル付き） DVI-Dコネクタ（DVI-Dケーブル付き）

プリセット ディスプレイ解像度について

次の表に示すディスプレイ解像度はこのモニタで使用される最も標準的なもので、デフォルトとして設定されています。モニタによってこれらのプリセット モードが自動的に認識され、正しいサイズの画像が画面の中央に表示されます。

出荷時のプリセット ディスプレイ モード			
プリセット	ピクセル フォーマット	水平周波数 （kHz）	垂直周波数 （Hz）
1	640×480	31.5	60.0
2	640×480	37.9	72.0
3	640×480	37.5	75.0
4	720×400	31.5	70.0
5	800×600	37.9	60.0
6	800×600	48.1	72.0
7	800×600	46.9	75.0
8	832×624	49.7	75.0
9	1024×768	48.4	60.0

出荷時のプリセット ディスプレイ モード（続き）

プリセット	ピクセル フォーマット	水平周波数 （kHz）	垂直周波数 （Hz）
10	1024×768	60.0	75.0
11	1152×870	68.7	75.0
12	1152×900	61.8	65.9
13	1280×960	60.0	60.0
14	1280×1024	63.9	60.0
15	1280×1024	80.0	75.0

ユーザ モードの使用

次のような場合、ビデオ コントローラから送られてくる信号がプリセット モードと一致しないことがあります。

- 標準グラフィックス アダプタを使用していない場合
- 標準グラフィックス アダプタを使用しているがプリセット モードを使用していない場合

このような場合、オンスクリーン ディスプレイ メニューでモニタのパラメータを再調整する必要がある場合があります。変更はどのモードにも適用でき、メモリに保存されます。モニタには新しい設定が自動的に保存され、これらのモードはプリセット モードと同様に自動的に認識されます。16のプリセット モードの他に、新たに4つのユーザ モードを登録して保存することができます。

エナジー セーブ機能

モニタが通常の動作モードのときは、モニタの消費電力が40 W未満になり、電源ランプが緑色に点灯します。

このモニタでは、省電力状態もサポートされます。水平同期信号と垂直同期信号の一方または両方が検出されない場合、モニタは省電力状態になります。このように信号が検出されない場合は、モニタの画面には何も表示されず、バックライトはオフになり、電源ランプはオレンジ色に点灯します。モニタが省電力状態になると、2 W未満の電力しか消費されません。短時間のウォームアップ後に通常の動作モードに戻ります。

エナジー セーブ機能の設定の手順について詳しくは、コンピュータに付属のマニュアルを参照してください（エナジー セーブ機能は、省電力機能、パワー マネージメント機能、節電機能など、マニュアルにより名称が異なる場合があります)。

モニタのエナジー セーブ機能は、エナジー セーブ機能を備えたコンピュータに接続されている場合にのみ有効です。

モニタのエナジー セーブ ユーティリティ内で設定値を選択すると、事前に決めた時刻にモニタが省電力状態になるように設定することもできます。モニタのエナジー セーブ ユーティリティによってモニタが省電力状態になると、電源ランプはオレンジ色に点滅します。

C

規定に関するご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

各国別勧告

以下に日本以外の国や地域での規定を掲載します。ただし、一般的な注意事項などに関しては、日本語で記載しています。

Federal Communications Commission Notice

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and the receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio or television technician for help.

Modifications

The FCC requires the user to be notified that any changes or modifications made to this device that are not expressly approved by Hewlett Packard Company may void the user's authority to operate the equipment.

Cables

Connections to this device must be made with shielded cables with metallic RFI/EMI connector hoods to maintain compliance with FCC Rules and Regulations.

Declaration of Conformity for Products Marked with FCC Logo, United States Only

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

For questions regarding your product, contact:

Hewlett Packard Company
P. O. Box 692000, Mail Stop 530113
Houston, Texas 77269-2000

Or, call1

1-800- 652-6672

For questions regarding this FCC declaration, contact:

Hewlett Packard Company
P. O. Box 692000, Mail Stop 510101
Houston, Texas 77269-2000

Or, call

(281) 514-3333

To identify this product, refer to the Part, Series, or Model number found on the product.

Canadian Notice

This Class B digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations.

Avis Canadien

Cet appareil numérique de la classe B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

European Notice

Products with the CE Marking comply with both the EMC Directive (89/336/EEC) and the Low Voltage Directive (73/23/EEC) issued by the Commission of the European Community.

Compliance with these directives implies conformity to the following European Norms (in brackets are the equivalent international standards):

- EN55022 (CISPR 22) - Electromagnetic Interference
- EN55024 (IEC61000-4-2,3,4,5,6,8,11) - Electromagnetic Immunity
- EN61000-3-2 (IEC61000-3-2) – Power Line Harmonics
- EN61000-3-3 (IEC61000-3-3) – Power Line Flicker
- EN60950 (IEC950) - Product Safety

国際エネルギー スター プログラム

弊社は、国際エネルギー スター プログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギー スター プログラムの基準に適合していると判断します。このプログラムは、家庭、オフィス、工場などで使用する装置のエネルギー効率を向上させることで、省エネルギー/省資源を促進するとともに大気汚染を防止することを目的として実施されたものです。このため、HPの製品には、エネルギー消費を削減するなどの省電力機能が搭載されています。

電源コードの要件

このモニタの電源には自動ライン電圧切替機能（ALS）が付属しています。この機能によって、モニタは100～120 Vまたは200～240 VのAC電圧で動作します。

このモニタに付属の電源コードおよびプラグは、電気用品取締法または電気用品安全法に適合しており、日本国内でご使用いただけます。

お買い上げの製品を海外でお使いになる場合は、その国で認定された電源コードをお買い求めください。

電源コードは、製品のラベルに記載された電圧と電流の定格に適合したものでなければなりません。ラベルに記載されている値より大きい定格のコードを使用してください。また、ワイヤの直径は0.75 mm^2/18 AWG以上、長さは1.8～3.6 mでなければなりません。使用する電源コードの種類については、HPのサポート窓口までお問い合わせください。

電源コードの上には物を置かないでください。また、誤って踏んだり足を引っかけたりしないように、プラグ、コンセント、および製品側の電源コネクタの取扱いにも注意して配線してください。

D

TCO '03の要件

ご購入ありがとうございます

ご購入くださったモニタは、TCO'03環境規格に適合した製品です。これは、このモニタが特に厳しい品質要件および環境要件に従って設計、製造、および検査されていることを意味します。これにより、ユーザを意識して設計された高性能な製品であるだけでなく、自然環境に与える影響が最小限に抑えられていることも保証しています。

TCO'03ディスプレイの要件の特長をいくつか次に示します。

人間工学

■ ユーザの作業環境を向上させ、目の疲れを緩和するための、優れた視覚人間工学と画質。重要な要因として、輝度、コントラスト、解像度、反射率、演色性、および画像の安定性が挙げられます。

エネルギー

- 一定時間経過後のエネルギー節約モード。ユーザと環境の両方に利点があります。
- 電気に関する安全性

放出物

- 電磁場
- 音声

生態学

- 製品はリサイクル可能である必要があり、製造元はEMASやISO 14 000など認定された環境管理体系を確立している必要があります。
- HPのリサイクル プログラムについては、HPのWeb サイト（http://www.jpn.hp.com/info/company/community/recycle.html）を参照してください。
- 以下の有害物質の制限
  - ❏ 塩素化合物および臭素化合物が含まれる難燃性物質および高分子化合物
  - ❏ カドミウム、水銀、鉛などの重金属

このラベルに含まれる要件は、世界中の科学者、専門家、ユーザ、および製造元の協力のもとにTCO Developmentによって開発されました。1980年代末から、TCOはIT機器の開発がよりフレンドリな方向で行われるよう取り組んできました。TCOの環境ラベル システムは1992年にディスプレイから始まり、現在、世界中のユーザやIT製造元から要求されるようになっています。

詳しくは、www.tcodevelopment.comを参照してください。